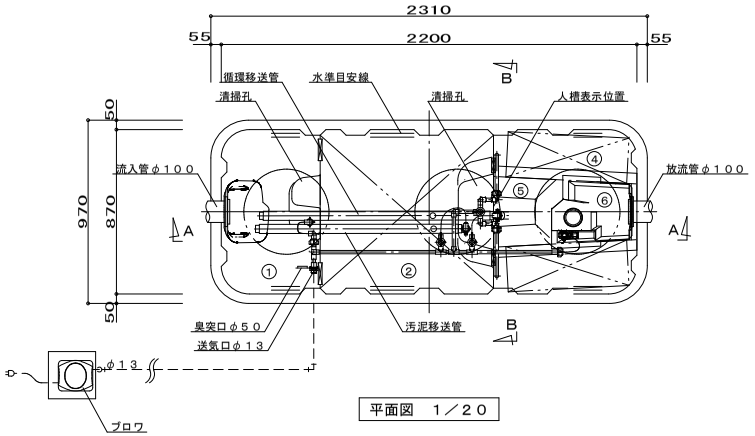
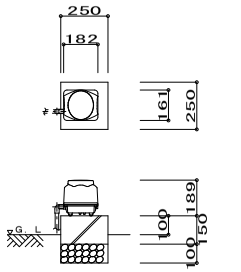
一　般　事　項	
コンクリート	Ｆｃ＝２１Ｎ／ｍｍ２
鉄　　筋	ＳＤ２９５Ａ
定着及継手	４０ｄ
開口補強筋	Ｄ１３シングル
地　　業	砕石又はＲＣ　４０～０



平面図　１／２０



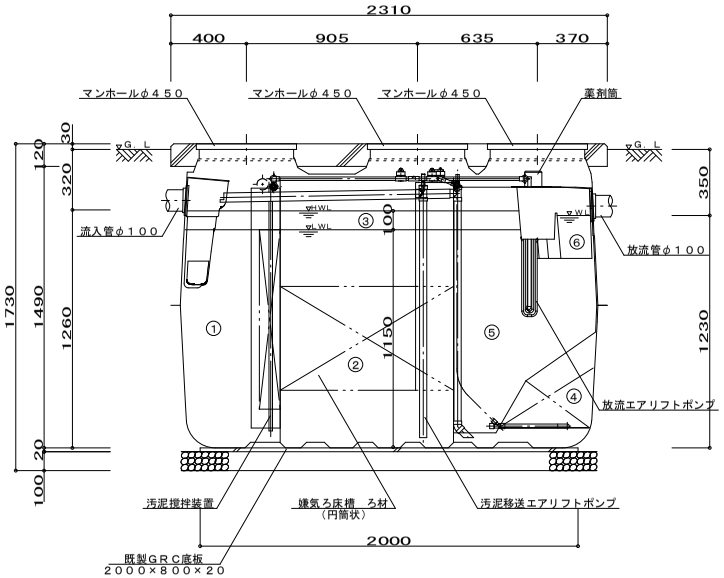
※基礎寸法は参考値とする

ブロワ　平・断面図　１／２０

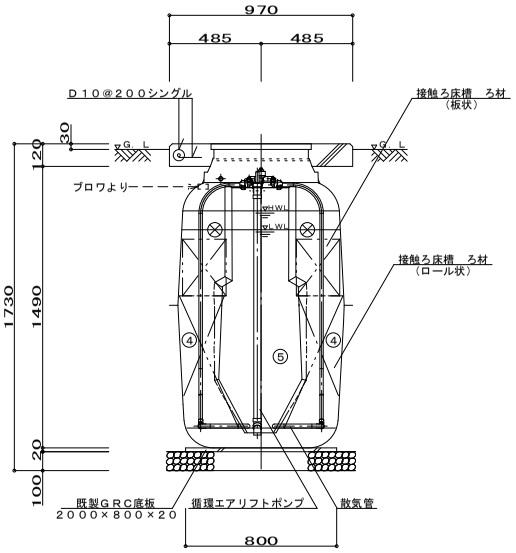
仕　様　表			
設計番号			
型式名称	ＣＡ－７型		
処理対象人員	７人		
汚水量	１．４０ｍ３／ｄ		
流入水質	ＢＯＤ２００ｍｇ／Ｌ　ＣＯＤ１００ｍｇ／Ｌ　Ｔ－Ｎ　４５ｍｇ／Ｌ　ＳＳ　１６０ｍｇ／Ｌ		
放流水質	ＢＯＤ　２０ｍｇ／Ｌ　ＣＯＤ　３０ｍｇ／Ｌ　Ｔ－Ｎ　２０ｍｇ／Ｌ　ＳＳ　１５ｍｇ／Ｌ		
①	沈殿分離槽	有効容量	０．４４７　ｍ３
②	嫌気ろ床槽	有効容量	０．８４２　ｍ３
③	ピークカット部	有効容量	０．１７０　ｍ３
④	接触ろ床槽	有効容量	０．４１５　ｍ３
⑤	処理水槽	有効容量	０．２２８　ｍ３
⑥	消毒槽	有効容量	０．０１５　ｍ３
	総　容　量	有効容量	２．１１７　ｍ３
機　器　装　置　仕　様			
嫌気ろ床槽ろ材（円筒状）	ＰＰまたはＰＥ	充填率	４３％
接触ろ床槽ろ材（ロール状）	ＰＰまたはＰＥ	充填率	６１％
接触ろ床槽ろ材（板状）	ＰＰまたはＰＥ	充填率	２１％
ブロワ	９０Ｌ／ｍｉｎ　φ１３　連続運転		１台
槽本体	ＦＲＰ		
パイプ類	ＰＶＣ、ＰＰまたはＰＥ		
マンホール	ＰＰまたはＦＲＰ		
消毒剤	固形塩素剤		

配管仕様	
露出配管（ブロワ廻り）	ＶＰ
土中配管	φ４０以下～ＶＰ・φ５０以上～ＶＵ
槽内配管	メーカー仕様

注１）上部は歩行者荷重とする。
注２）機器電源は単相１００Ｖとする。
注３）図中の”Ｇ．Ｌ”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注４）浄化槽からブロワまでの距離は５ｍ以内とする。
注５）流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注６）臭突管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注７）ブロワ付近にコンセント×１を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
注８）岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。
注９）地下水面が掘削底よりも高い場合、杭工事が必要な場合には、ＧＲＣ底板を使用しないこと。
注１０）地耐力は４０ＫＮ／ｍ２以上必要とする。（実際の工事業者が確認後施工の事）。
注１１）ＧＲＣ底板を取り扱う際には、素手で作業しないこと。
注１２）ＧＲＣ底板据付後の水平誤差は±５ｍｍ以内とすること。



Ａ－Ａ断面図　１／２０



Ｂ－Ｂ断面図　１／２０

施工高さ範囲					
ＭＨ	項　　目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易ロック	最小寸法（この図面）	５０Ｈ	Ｇ．Ｌ－３２０	Ｇ．Ｌ－３５０	１７３０Ｈ
	最大寸法	３００Ｈ	Ｇ．Ｌ－５７０	Ｇ．Ｌ－６００	１９８０Ｈ
ボルトロック	最小寸法	１００Ｈ	Ｇ．Ｌ－３９０	Ｇ．Ｌ－４２０	１８００Ｈ
	最大寸法	３００Ｈ	Ｇ．Ｌ－５９０	Ｇ．Ｌ－６２０	２０００Ｈ

注）製品全高は、製品規格で＋１０、－２０mmの公差があります。
　　流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±１０mmの公差があります。

名　称	ＣＡ－７　（歩行者荷重）			
	浄化槽構造図・配筋図（ＧＲＣ板仕様）			
設計年月日	設　計	検　図	図　番	縮　尺
２０２２・０４・	近　藤	小　栗		１／２０

フジクリーン工業株式会社